

明治150年記念

# 舞踊・邦楽で よみがえる 東京の明治

構成 古井戸秀夫

## 家庭の音楽

明治音楽  
九連環 ほか

胡琴 山田慶子  
月琴 稲見恵七 ほか

箏曲  
姫松 秋の夜

箏 萩岡未貴  
三絃 萩岡由子

## 街頭の風俗

新内  
新内流し

岡本宮之助  
鶴賀毘代寿郎

## 社交場の芸能

舞踊  
清元  
梅の春

立方 藤間藤枝  
浄瑠璃 清元清榮太夫  
三味線 清元栄吉 ほか

長唄  
吾妻八景

唄 今藤長一郎  
三味線 今藤長龍郎 ほか

## 解説

もう一つの明治

紅葉館と新富座  
古井戸秀夫  
(東京大学名誉教授)

## 劇場の新作物

花柳壽應 監修  
長唄 茨木

舞踊  
渡辺源次綱  
家臣宇源太  
太刀持音若  
士辛運藤  
士辛軍藤  
伯母真柴  
若茨木童子  
花柳基  
花柳寿太一郎  
青山恵大  
花柳源九郎  
花柳寿美藏  
花柳寿楽

唄  
三味線  
杵屋勝四郎  
杵屋勝松 ほか

唯子 藤舎呂英連中



【新富座】明治15年11月【推定】(長崎大学附属図書館所蔵)

平成30年10月6日(土)午後2時開演 字幕表示がございます

入場料金(税込)=全席指定 5,500円/学生 3,900円 ※障害者の方は2割引です。

予約開始=8月11日[土]午前10時~ 窓口販売開始=8月12日[日](チケット売場 午前10時~午後6時)

【電話】国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時] 0570 (07) 9900 03 (3230) 3000 [一部IP電話等]

※窓口販売用に別枠での  
お取り置きはございません。

東京・半蔵門  
**国立劇場** 小劇場  
〒102-8656 千代田区準町4-1  
03-3265-7411(代表)  
<https://www.ntj.jac.go.jp/>



ACA National Arts Festival Presents

Tokyo's Meiji-era Cityscape Revived by Dance and Music  
OCTOBER 6, 2018 National Theatre

Booking opens from August 11  
Box Office +81-3-3230-3000 (10:00-18:00 (JST))  
[http://ticket.ntj.jac.go.jp/top\\_e.htm](http://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm)

# 舞踊・邦楽で 東京の明治

よみがえる

## 【家庭の音楽】

明治期、芸事が一般に開放され、家庭生活の一部として広く浸透していききました。

● 明治音楽は、幕末から明治前期にかけて東京で流行した音楽で、胡琴や月琴など中国大陸に由来する楽器で合奏されます。「九連環」はその代表曲の一つで、異国情趣に満ちた音色が魅力です。

● 箏曲は、江戸以前の歌詞に改良が施されながら、明治以降も家庭音楽として定着していききました。「姫松」「秋の夜」はその動きに対応して作られた初学曲で、品行方正な歌詞のなかに、箏曲の味わいが凝縮されています。



楊斎延一「婦人音楽会」明治22年、個人蔵

## 【街頭の風俗】

明治期においても街中では、様々な近世芸能が披露され、路上は活気に満ちていました。

● 新内は劇場から離れて発達した浄瑠璃で、遊里や繁華街を三味線を弾きながら練り歩く「新内流し」という独自の演奏形態を派生させました。明治以降も街の至る所で活動が続いていたと言われ、高低二挺の三味線が哀愁に満ちた情景へと誘います。

## 【社交場の芸能】

社交場が多様に発達したのも明治期です。中には西洋由来の会館や倶楽部が新設される一方、旧来の様子を留めた料亭や座敷も存在し、様々な場面で芸能が上演されていました。

● 舞踊では、衣裳や小道具などを用いずに踊る素踊りが広まります。当時、街中では清元が隆盛していたこともあり、清元の素踊りが親しまれました。「梅の春」は、文政期に作曲された御祝儀曲。上品で華やかな清元随一の名作として明治期にも人気を博します。

● 長唄は、幕末に純鑑賞曲の作品が成立し、劇場を離れた会場でも演奏されるようになりました。「吾妻八景」は、江戸の名所風物を綴った作品で、替手形式の曲節が施されています。明治期の演奏会では、鑑賞会用の技巧的な作品も好まれ、頻りに上演されていました。

## 【解説】

明治期の舞踊と邦楽について、東京大学名誉教授の古井戸秀夫が解説します。家庭から演奏会へ、料亭から劇場へと展開していった様子をわかりやすく紹介します。

本年は明治一五〇年の記念の年に当たります。明治は速くなりけり、というように、当時と比べると世の中の様相は大きく変わり、日々の生活で旧来の風情を感じ取る場面も随分少なくなりました。しかし、芸能のなかには現在も昔の風俗が色濃く残り、その表現を通じて当時の様子を窺い知ることができます。今回は、明治中期の東京の各所で親しまれた舞踊・邦楽に焦点を当ててお送りします。現代まで連続と継承され続けてきた作品でよみがえる、東京の明治。当時の情趣を感じながらお楽しみください。



豊原国周「日本橋品川街万林樓上座舖之図」(部分)明治5年、国立劇場所蔵

## 【劇場の新作物】

明治前期は新富座の黄金時代と言われ、近代的な様式を備えた同座が人気を博していました。東京一の劇場として名立たる俳優陣が顔を揃え、多数の新作が上演されます。

● 「茨木」は、明治十六年新富座で初演された松羽目物。高尚趣味の流行を取り入れながら、劇的な内容が綴られています。渡辺綱に切り取られた腕を綱の伯母に化けた鬼が取り返すという、真柴の技巧と綱の迫力が見どころの歌舞伎舞踊屈指の大曲です。

以上、出演者には各界の第一線で活躍する中堅若手の実力派が揃います。東京の明治を彷彿とさせる作品の数々。ご期待ください。

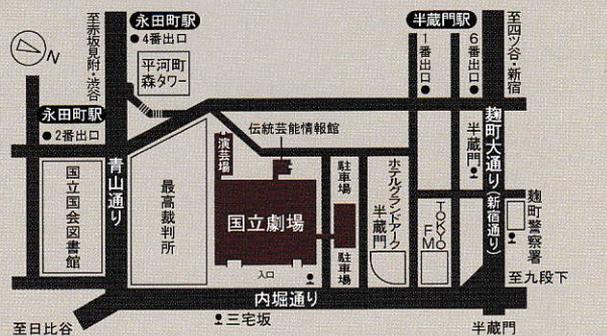
平成30年 10月6日(土) 午後2時開演 (5時5分終演予定)

◎入場料金(税込)＝全席指定 5,500円/学生 3,900円 字幕表示がごさいます

※障害者の方は2割引です。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。  
※出演者などの変更の場合はご了承ください。

【電話】国立劇場チケットセンター [午前10時～午後6時]  
**0570-07-9900** 03-3230-3000 (一部1P電話等)  
 予約開始 **8月11日(土)** 午前10時～  
 【インターネット】  
 パソコン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/>  
 スマートフォン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m>

■窓口販売開始 **8月12日(日)** (チケット売場 午前10時～午後6時)  
 ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。  
 ■プレイガイド チケットぴあ 0570(02)9999 <http://pia.jp/>



- 地下鉄 半蔵門線(半蔵門駅)6番出口(エスカレーター、エレベーターあり)・1番出口徒歩5分  
有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)4番出口徒歩8分・2番出口徒歩10分
- 都バス 都03(晴海埠頭一銀座四丁目一四谷駅)三宅坂徒歩1分(本数僅少)  
宿75(新宿駅西口一河田町一四谷駅前一三宅坂)三宅坂徒歩1分(本数僅少)
- 劇場バス 終演時に運行(東京行き・新宿行き)(有料)
- 駐車場 収容台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

国立劇場託児室  
 この公演は託児サービスがご利用いただけます。事前のご予約が必要です。  
 料金：[0～1歳] 2,000円/[2～12歳] 1,000円  
 ご予約・お問い合わせ：イベント託児・マザーズ 0120-788-222 <http://www.mothers-inc.co.jp>  
 [受付時間] 平日 午前10時～12時、午後5時～7時